

13

吉田川鮎はね床止

あひだ



八幡町は、現在でも城下町の風情を多く残しており、奥美濃の小京都とも呼ばれている。町内の吉田川も清らかな流れにアユやアマゴなどが泳ぐ河川として、全国に知られている。

この「吉田川鮎はね床止」は、良好な河川景観の親水性を高めるとともに、地域住民の憩いの場となるように、多くの人々が集まる市街地に設けられている。

整備にあたっては、本体および護床ブロックに地場産の自然石を埋め込み、魚類にやさしい素材を用いている。また、石の突出部からの水瀑布により、本体が水面から出ないような工夫も施している。

ポケットパーク事業や沿道修景化事業、吉田川親水遊歩道整備事業なども併せて行われ、親水性のある河川空間の創出が図られている。

DATA・BOARD 13



- ①岐阜県郡上郡八幡町島谷
- ②延長：18.8m，幅員：54.3m
- ③魚道
- ④現地採取石材，コンクリート

●くらしに根づく施設